①令和6年7月8日（月）開催 こどもの権利について勉強してみよう！の会

参加者：高校生12名（4グループに分かれて討議）+大人8名

グループワーク結果

(1) 十分に守られていると思う権利とあまり守られていないと思う権利（3G以上が回答した項目）

十分に守られていると思う権利 (20項目)	5条 親の指導尊重	6条 生きる・育つ	7条 名前や国籍
	8条 名前・国籍・家族関係が守られる	9条 親と引き離されない	10条 別々の国にいる親と会える
	13条 表現の自由	14条 思想・良心・宗教の自由	15条 結社・集会の自由
	16条 プライバシー・名誉の保護	19条 あらゆる暴力からの保護	20条 家庭を奪われた子どもの保護
	21条 養子縁組	22条 難民の子ども	23条 障がいのある子ども
	24条 健康・医療への権利	25条 施設に入っている子ども	32条 経済的搾取・有害な労働からの保護
	37条 拷問・死刑の禁止	38条 戦争からの保護	
あまり守られていないと思う権利（2項目）	2条 差別の禁止	34条 性的搾取からの保護	

(2) 自分が大切だと思う権利とその理由は？

(3G以上が回答した項目)

大切だと思う権利	理由
2条（差別の禁止）	差別されてはいけない、子どもがみんな平等に生きられるように平等でない、差別は見えないから怖い。
	この権利がないとこの条例がみんなに与えられない。
	多様性を認め合える世界になってほしい。自分が誰かを差別していないか常に意識することが大事。
	子どもだから、障害があるからと分けないで、同じ環境で暮らすのだから一人一人が大切。差別はいけない
3条(子どもにとってもっともよいことを)	子どもにとって良い事をすれば、その子たちが大人になった時に子どもに良いことをする。
	大人の都合で決めずに、子どもが笑顔になることを考えて！
	簡単そうだけど誰かに良いことは他の子にも良いとは限らない。
4条（国の義務）	国が守らないと意味がない
5条(親の指導尊重)	親は親として成長して、子どもを適切なしつけをと思った
6条(生きる権利・育つ権利)	健康に育つこと、年れに合ったサポートが必要。みんな人間！
	これがないと生きていいのかわからない。自分が生きる育つことを決めるのは他の誰でもない。
	これが普通でなければならない
	命は何にも代えがたいもの。子どもだからと軽んじてはいけない。

大切だと思う権利	理 由
7条(名前や国籍)	名前や国籍が無いと身分証明できない
9条(親と引き離せられない)	親は子どもにとって一番大切なもの。
10条(他の国に居る親と会える)	親と離れて暮らすのはとてもとても心細い！
12条(意見を表す権利)	大人の主張で、正当化させてしまいかねない。一人の人間だから意見を述べてもよいはず。
	意見や考えがないと楽しくない
	子どもの意見は考慮されるべき。自分の意見を言える機会を子どもの頃から大切にされることで、生きやすさに繋がる。子どもも言いたいことがある！！
	自由に意見を言える環境は大切。子どもだから分からないと思わないで。大人が子どもの意見に耳を傾けることは大切。
13条(表現の自由)	伝える・知る事は大切。知らないことで不利益にならないように。自由にかんがえさせてあげて。自分のやり方、ペースで。
	興味のあることをもっと知れたら毎日が楽しくなる。自分で考えをまとめたり、発信することでいろいろ考えを理解し合えるようになる。今の情報社会で知れなかったり伝えられなかったら周りの人に後れをとるかも。
14条(思想・良心・宗教)	一人一人が何を信じ、何を思うかは自由であるべき。
17条(情報の入手)	子どもに良くない情報から守られて欲しい
	自分が本やテレビが好きだから。
18条(子どもの養育はまず親に責任)	園や学校じゃなくまずは家！ずっと居残り、言ってることとやっていることが違うのは×
19条(虐待放任からの保護)	生活満足度を上げるために必要。子どもの発達にかかわる。
	子ども・弱者だからと不当な扱いはいけない。
20条(家庭を奪われた子どもの保護)	その子のために最良の理解の促進が大切。子どもを大切にできる大人になる。
21条(養子縁組)	これからの子どもの人生があるので、慎重に選ぶ必要がある。
23条(障害のある子ども)	障害があっても心は健常者と同じ。偏見がすくなくなるとよい。
	障害のある子どもが自立して社会に参加しやすい市になって欲しい
24条(健康・医療への権利)	生きるために必要
	子どもは免疫力が大人と比べて低い。
	毎日元気に過ごすために必要。
	子どもだからこそ、健康で成長できるように。健康でいられるように、医療・保険サービスは必要。
25条(施設に入っている子ども)	適切な養育を受けることが大切
26条(社会保障を受ける)	働く術がない子どもは、お金を得ることが難しいから。
27条(生活水準の確保)	衣食住が整ってこそ、安心した生活になる
	生まれた環境によって生活水準に不公平があってはいけない。最低限そろっていないと生きるのが辛く、苦しみに繋がる。

大切だと思う権利	理 由
28条(教育を受ける権利)	生きていく知恵や職につくための力がつかない。勉強をした分将来につながると 思うので、同じ環境を与えることが大事。
	教育は社会で生きていく上で大事である。学ぶことでその人の可能性が出てくる
	学校の活動は子どもにとって大切。教育を受けないと知る事ができない。
	家庭の事情で教育を平等に受ける権利が奪われてはいけない。子どものやりたい 学び気持ちは尊重されるべき。
29条(教育の目的)	人権は生きてる上でとっても大切なことと思う。
31条(休み、遊ぶ権利)	子どもの育ちに大事。色々な体験が大事。生きるのに必要。友達と遊ぶ時間を 守って欲しい
	習い事や部活、好きなことでもずっとはしんどい。休みたい！遊びたい！自由に 活動するための支援があるといい。勉強だけでは、疲れちゃう。
	心の健康は身体健康のミナモト！遊ぶことで完成や価値観など考え方の発達 が見込まれる。勉強だけでなく、休息をとり、毎日楽しく過ごした方が 良い。
	勉強ばかりでは疲れてしまう。自由に好きな事や休むことが大切。
32条(経済的搾取・有害な労働からの保護)	大人の都合で子どもを動かされてはいけない。精神状態に大きく影響する
37条(拷問・死刑の禁止)	子どもがこれからの人生を歩んでいけるように、後押しをしなければいけない から。
38条(戦争からの保護)	平和が一番。テレビで見ると辛い。
	大人がきめたことで、子どもが振り回されたり命をうばわれてはいけない。
39条(犠牲になった子どもを守る)	被害にあった子どもの回復と社会復帰。周りのサポートが大切。
40条(子どもに関する司法)	間違えても戻れたり、居場所がないと困る。